

(同時発表：京都府政記者クラブ、京都市政記者クラブ、京都経済記者クラブ、関西プレスクラブ)

令和8年9月15日

2026年度「CONNECT_{art}_ふれれば、はじまる」の 概要・メインビジュアルを発表します

文化庁・京都新聞では、2026年12月3日（木）から12月13日（日）まで、京都国立近代美術館ほかにおいて、文化芸術を通して多様性や共生社会のありかたについて関心を深めることを目的としたプロジェクト「CONNECT_{art}_（コネクト）」を開催。今年度の概要とメインビジュアルを発表いたします。

1. 概要

文化庁・京都新聞では、アートを通して、多様性や共生社会のありかたについて、障害のある方もない方も共に考え、語り合い、実践するプロジェクト「CONNECT_{art}_」を、今年も京都にて開催します。

12月の「障害者週間（3日～9日）」に合わせて、京都国立近代美術館など京都市岡崎公園内の文化施設において、様々な文化芸術プログラムを実施します。

2. 会期等

タイトル：2026年度「CONNECT_{art}_ふれれば、はじまる」

会 期：2026年12月3日（木）～12月13日（日）

会 場：京都国立近代美術館、京都市京セラ美術館、京都府立図書館、
ロームシアター京都、京都市動物園、京都市勧業館みやこめっせ・京都伝統産業ミュージアム

入場料：無料

URL：<https://connect-art.jp/>

3. 主催等

主 催：文化庁、京都新聞

共 催：京都府、京都市、京都国立近代美術館、京都市京セラ美術館、
京都府立図書館、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市動物園

後 援：NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都

協 力：京都障害者芸術祭実行委員会、きょうと障害者文化芸術推進機構、
京都市勧業館みやこめっせ・京都伝統産業ミュージアム（株式会社京都産業振興センター）、社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会 ほか

4. 問合せ先

「CONNECT21」事務局（京都新聞COM）

（京都新聞COM 営業局営業部内 担当：岩崎、西森、向井、石坪）

〒604-8567 京都市中京区烏丸通六角下ル七観音町634 ONEST京都烏丸スクエア

電話：075-255-9757 FAX：075-255-9763（受付時間：平日 10:00～17:00）

<担当>

文化庁参事官（伝統文化・生活文化担当）付 地域文化・共生社会担当 山崎、佐橋

〒602-8959 京都市上京区下長者町通新町西入藪之内町 85 番 4

電話：075-451-9571

障害のある人もない人も、
多様性や共生社会についてともに考えるプロジェクト

「CONNECT⇄」

2026 年は「ふれれば、はじまる」を
テーマに開催します



開催概要

- 【タイトル】2026 年度「CONNECT⇄ふれれば、はじまる」
- 【会 期】2026 年 12 月 3 日（木）～12 月 13 日（日）
- 【会 場】京都国立近代美術館、京都市京セラ美術館、京都府立図書館、ロームシアター京都、京都市動物園、京都市勧業館みやこめっせ・京都伝統産業ミュージアム
- 【主 催】文化庁、京都新聞
- 【共 催】京都府、京都市、京都国立近代美術館、京都市京セラ美術館、京都府立図書館、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市動物園
- 【後 援】NHK 京都放送局、KBS 京都、エフエム京都
- 【協 力】京都障害者芸術祭実行委員会、きょうと障害者文化芸術推進機構、京都市勧業館みやこめっせ・京都伝統産業ミュージアム（株式会社京都産業振興センター）、社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会 ほか
- 【入 場 料】無料
- 【公式 WEB】<https://connect-art.jp/>
- 【事務局】京都新聞ホールディングス（事務取扱：京都新聞 COM）

京都・岡崎エリアの文化施設で、
誰もが気軽に文化・芸術にアクセスできる 11 日間。
美術館・図書館・劇場・動物園で、
さまざまな「ふれる」を楽しみ、考える場をつくります。

文化庁・京都新聞では、アートを通して多様性や共生社会のありかたについて、障害のある方もない方も共に考え、語り合い、実践するプロジェクト「CONNECT₂（コネクト）」を、2026 年 12 月 3 日（木）から 12 月 13 日（日）までの期間に開催します。京都の文化ゾーンである岡崎地域の美術館、図書館、劇場、動物園などの文化施設が連携して、障害や属性に関わらず様々な方が気軽に文化・芸術にアクセスできるプロジェクトを行います。

12 月からの開催に先立ち、今年度の概要とメインビジュアルを公開いたします。各プログラムの詳細は 10 月中旬ごろ発表予定です。

2026 年度 テーマとメインビジュアルについて



CONNECT₂の開催 7 年目となる本年のテーマは「ふれば、はじまる」。

これまでの CONNECT₂で、障害のある人もない人も体験を共有する方法のひとつとして着目してきた「ふれる」ことについて、あらためて焦点を当ててみます。

プログラムを通して「ふれる」ことのさまざまな側面を紹介し、その仕組みについて解きほぐすことで、異なる感覚や体験を共有しながら共に生きていくための手がかりを探ります。まずは「ふれる」ことから始めてみませんか。

メインビジュアルでは、「ふれる」ことから生まれるさまざまな体験や出会いを表現しました。CONNECT₂への参加を通して起こる、来場者の体験や参加者との出会い、新しい感情の芽生えなどを、触れるもの・触れられるものを、キャラクターとして表現しました。生き物のようなキャラクターにすることで、「ふれる」ことを直感的に感じられる表現を目指しています。（デザイン：Neki inc.）

開催予定プログラム

CONNECT₂プログラムとして、今年のテーマ「ふれれば、はじまる」に合わせて、ふれられる本や作品の展示など、多様な「ふれる」を体験できる空間をつくります（会場：ロームシアター京都）。また、研究者やアーティストを招き、「ふれる」を知覚や触覚、痛覚、さらに身体感覚の観点から考えるトークや、各施設をめぐるスタンプラリーも開催予定。

参加施設によるプログラムは、今年は施設間コラボによる合同企画を多数開催します。動物の毛皮や骨格、動物が描かれた絵画を鑑賞して、感じた印象などを伝えあうワークショップ（京都国立近代美術館×京都市動物園）や、建築を手で触れながら巡る周遊ツアー（京都市京セラ美術館×京都府立図書館×ロームシアター京都）など、多様な文化施設が集まる京都・岡崎エリアならではのコラボ企画です。

各プログラムの詳細は10月中旬ごろに発表予定です。すべてのプログラムは参加無料です。

またCONNECT₂では、どなたでも参加いただけるよう、合理的配慮の観点から、鑑賞や参加に対するサポートをできる限り行います。



【参考画像】2025年 共生・多様性・アクセシビリティについて考えるトーク「文化施設における『共生』をいま再考する」開催風景



【参考画像】動物の毛皮や骨格をさわるワークショップ（過去の開催風景より）

CONNECT₂のウェブサイトおよび SNS

【WEB】 <https://connect-art.jp/>

【X（旧 Twitter）】 https://x.com/CONNECT_KYOTO

【Facebook】 <https://www.facebook.com/CONNECT.ART.KYOTO>

【Instagram】 https://www.instagram.com/connect_art_kyoto/

【YouTube】 https://www.youtube.com/@connect_art_kyoto

お問い合わせ 事業詳細及び広報用画像、取材依頼等は事務局へお問い合わせください。

CONNECT₂事務局（京都新聞COM） 担当：岩崎、西森、向井、石坪 （受付時間：平日 10:00～17:00）
〒604-8567 京都市中京区烏丸通六角下ル七観音町 634 ONEST 京都烏丸スクエア 京都新聞COM 営業局営業部内
TEL：075-255-9757 / FAX：075-255-9763 / Mail：connect-art@mb.kyoto-np.co.jp

（令和8年度文化庁委託事業「障害者等による文化芸術活動推進事業」）